

実施計画事業名		高齢者包括的支援事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部地域包括支援センター		課長(主幹)名	高瀬 義明			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	2	高齢者福祉を推進します					
	関連施策							
現状と課題	高齢者の生活を包括(総合)的・継続的に支えるための相談機関として、地域包括支援センターの周知は図られてきており、関係機関との連携のもと、専門職によって、複雑かつ困難な問題を抱える高齢者の相談等に対応している。介護保険等のサービスのみならず、社会資源を活用し、地域で支えていけるようなネットワークづくりが課題。							
目的	特定高齢者が要介護状態になることへの予防や、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続できるよう、地域のネットワークを構築し、適切なサービスにつなげる。また、権利擁護の必要な支援を行う。							
5ヶ年展開の施策	①総合相談・支援…地域包括支援センターと、協力機関である4つの在宅介護支援センターにより、高齢者や家族からの介護や福祉に関する総合的な相談対応、支援を行う ②虚弱な高齢者(特定高齢者)の予防プラン作成、③認知症に対する理解促進(サポーター養成) ④高齢者の人権等を擁護…高齢者虐待への対応と権利擁護(成年後見制度の活用推進・消費者被害の防止等)の対応、支援を行う ⑤地域ケア支援(地域ケア会議開催、ケアマネージャーへの困難事例等への後方支援等)							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	総合相談件数		件	目標	7,850	7,980	8,150	
	説明	地域包括支援センター及び在宅介護支援センターで受け付けた相談件数(延べ)		実績	8,109	8,927		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	地域包括支援センターで作成した介護予防プランの数		件	目標	50	70	90	
	説明	介護予防マネジメント事業で作成した特定高齢者の介護予防プランの件数(実人数/年間)		実績	34	72		
	認知症サポーター養成講座受講者数		人	目標	100	100	80	
	説明	1年間に市及びキャラバンメイトが開催した認知症サポーター養成講座を受講した人数		実績	117	236		
	認知症サポーター養成講座開催回数		回	目標	6	6	5	
	説明	1年間に市及びキャラバンメイトが開催した認知症サポーター養成講座回数		実績	5	6		
	地域ケア会議開催回数		回	目標	8	8	8	
説明	地域ケア会議、介護予防部会、居宅支援事業所連絡部会等の開催回数		実績	15	8			
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	31,942	35,212	37,885		
	国庫支出金		千円	12,776	14,083	14,964		
	道支出金		千円	6,388	7,041	7,482		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	6,388	7,041	7,955		
	一般財源		千円	6,390	7,047	7,484		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.98	2.67	2.66		
人件費(B)		千円	13,446	18,567	18,498			
計(A+B)		千円	45,388	53,779	56,383			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p><b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p>&lt;cの場合は、なぜかを分析して記入する&gt;</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p><b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p>&lt;bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<p><b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p>&lt;bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
	<p><b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p>&lt;bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか	<p><b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p>&lt;bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する&gt;</p>
コ ス ト 効 率	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する&gt;</p> <p>年々相談件数が増加し、権利擁護等の相談が多くなってきているが、さらに一般市民に対し相談窓口の周知を図っていく。また、地域資源である民生委員等との連携強化については、各地区の定例会に在宅支援センターと一緒に参加し、情報交換や困難ケースの事例検討等を行い、適切な支援を受けられる地域づくりに取り組んでいく。平成24年度からの第5期介護保険事業計画の中心となる地域包括ケア体制構築については、平成23年度から介護・医療関係者による協議の場を立ち上げたが、課題の解決に向けて今後も継続して開催して行く。複雑多岐な権利擁護業務、介護予防事業、委託先の受託困難による介護予防支援業務の増加等より、地域包括支援センターの業務量を勘案し、専門職の確保に努める。</p>
	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;2次評価者の視点からコメントを記入する&gt;</p> <p>1次評価のとおりとする。</p>
総 合 評 価	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;2次評価者の視点からコメントを記入する&gt;</p> <p>1次評価のとおりとする。</p>

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<p><b>A</b> 概ね問題なし</p> <p>&lt;2次評価者の視点からコメントを記入する&gt;</p> <p>1次評価のとおりとする。</p>						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--